

# ひょうご農地・水ニュース

今年度も農業の基本となる農地や水路、さらには美しい景観、豊かな生きもの、綺麗な水を守り育む地域ぐるみの活動が県下各地で熱心に行われました。

ひょうご農地・水ニュースでは、この一年の各地域の話題やイベントをご紹介します。

平成27年12月5日には、8回目となる「ひょうご水土里のふるさとフォーラム」が兵庫県公館で開催され、県内外から農地・水保全管理活動関係者や都市住民など大勢の参加がありました。



兵庫県多面的機能発揮推進協議会 ホームページ

<http://hyogo-nouchimizu.com/>

イベント情報や農地水ニュース等、たくさんの情報を入手でき、事務に係る各様式のダウンロードも行っていただけます。

## ○CONTENTS○

- P.2～3 第8回ひょうご水土里のふるさとフォーラム 報告
- P.4 毎年恒例、個別面談会を行いました！（神戸地域）／中部自然ふれあいあそび（阪神地域）
- P.5 東播磨・北播磨地域 活動発表会／第12回「はりちゅうの日」（東播磨・北播磨地域）
- P.6 西播磨フロンティア祭／生き物教室／羅漢の里もみじまつり かがしコンテスト（西播磨地域）
- P.7 浅野ため池ウォーキング（中播磨地域）／直谷池「かいぼり」（但馬地域）
- P.8 第53回淡路農林水産祭／田んぼダムシンポジウム（淡路地域）
- P.9 平成27年度 豊かなふるさとづくり推進委員会（現地調査）
- P.10 （話題提供）農村景観写真コンテスト／地下鉄ショーウィンドーでPR展示を行いました！
- P.11 （話題提供）ひょうごため池新聞・メールマガジン
- P.12 （話題提供）ため池・田んぼで洪水を防ごう！雨水貯留大作戦

～みんなで守ろうみんなのため池～

## 第8回ひょうご

# 水土里のふるさとフォーラム

とき：平成27年12月5日（土）  
ところ：兵庫県公館

約3万8千のため池を抱える兵庫県。平成27年4月に全国で初めてとなるため池等の適正な管理に加え、多面的機能の発揮の促進を定めた「ため池の保全等に関する条例」が施行されました。

県では、ため池管理者の適正な管理や、多様な主体によるため池保全の取組みを推進する「ため池保全県民運動」を展開しています。このため、今年度のフォーラムは、ため池の保全をテーマに兵庫県公館で開催し、定員を大幅に超える約650名の方にお越しいただきました。



### オープニング「ひょうごのため池はぼくたちが守る！」

まず始めに、メダカのコタロー劇団と神戸市立近田幼稚園の園児によるステージが行われました。

今回のフォーラムのテーマでもあるため池を守ることの大切さを、歌や踊り、アニメ紙芝居を通じて参加者に訴えました。

また、演技後には司会の田名部氏より園児にインタビューが行われ、恥ずかしそうに答える可愛らしい姿に、会場も笑顔に包まれました。



メダカのコタロー劇団と近田幼稚園

### セレモニー



井戸知事

井戸知事の主催者挨拶では、「消費者ニーズへの対応と基盤整備が今後の農業を維持する上で鍵となる」といったお話がありました。

次に、平成26年度に農地・水路等の地域資源や農村環境の保全で、特に優れた取組を実施した活動組織に対して「みどり豊かなふるさと大賞」（知事賞1地区、委員長賞4地区）の表彰が行われ、代表者に賞状と記念品が贈呈されました。

また、審査を行った星野委員長の講評では、受賞団体の努力が讃えられ、今後の活動に対するエールが送られました。



星野委員長



- ★知事賞  
浅野美しい村づくり活動組織  
（市川町）
- ★委員長賞（保全管理部門）  
休治みどりの会（上郡町）
- ★委員長賞  
（豊かな農村環境づくり部門）  
十倉地区資源保全隊（三田市）
- ★委員長賞（地域づくり部門）  
国岡協議会（稲美町）
- ★委員長賞（環境創造型農業部門）  
多田農地協議会（多可町）

**基調講演「農業と生きものの環境」**

早稲田大学教授で生物学者の池田清彦氏による、農業と生き物の関わりについての講演が行われました。

「多様性を守り、生物、人間、農業が共存するには、寛容の精神が不可欠で、バクテリアやミミズといった生物が農業にとっていかに重要であるか」などのお話をいただいた他、農薬による生物への影響についても言及し、消費者意識を変える必要性をご指摘されました。

テレビでもお馴染みのユーモアを交えた語り口で、わかりやすく農業と生物の環境を守ることの大切さを伝えていただきました。



池田氏

**トークショー「みんなで守ろう みんなのため池！」**



©東播磨プロデュース

- 【ナビゲーター】 ラジオ関西パーソナリティ 谷五郎
- 【コメンテーター】 兵庫県立人と自然の博物館館長 中瀬勲
- 【話題提供者】 いなみ野ため池ミュージアム運営協議会会長・作家 玉岡かおる、淡路東浦ため池・里海交流保全協議会会長 谷正昭、浅野美しい村づくり活動組織代表 藤本忠義 (以上敬称略)



中瀬氏

トークショーでは、谷五郎氏をナビゲーターに、ため池との関わりや保全活動について、それぞれの立場から今後のため池保全のあり方について意見交換が行われました。

中瀬氏からは、「地域のことを最も理解している住民が創意工夫によるため池の保全活動を進めていくべきで、農村集落の運営に関しても、革新的なやり方に挑戦する時期である」と提言されました。

玉岡氏は、10年以上東播磨地域でため池を守る活動を続けており、「ネットワークも増え、手応えを感じているものの、ため池の数が減少の一途をたどっていることを危惧している」といったお話がありました。

谷正昭氏は、「かいぼりを通じて農業者と漁業者、そして地域住民との交流が広がっていること、また、こういった活動を継続する上で行政のアドバイスや支援が欠かせない」ことを強調してお話しされました。

藤本氏からは、「地域を変えるには女性の意識向上と参加が重要であり、イベントでは女性の交流の場を設けている」といったお話がありました。



玉岡氏



谷正昭氏



藤本氏



田名部氏 谷五郎氏

## 神戸地域

### 毎年恒例、個別面談会を行いました！



神戸地域では、全活動組織との個別面談会が毎年恒例となっており、各活動組織に1時間程度の時間をかけて、作成された書類のチェックや、活動の進捗状況、今後の予定などをお聞きしたりしています。

今回の面談会の中でたびたびあがった話題として、世代交代等で新しく活動のリーダーとなった農業者が、ため池等の農業用施設に対する知識が不十分だという話がありました。

そこで今年度は、3月に活動組織を対象とした「ため池点検・管理技術研修会」を開催します。この研修会では、ため池のつくりや構造等といった基本的なものから、ため池を長く安全に使っていくための点検・管理の方法、ため池で防災上役立つ工法等を説明します。また、今後の多面的機能支払の活動の中で活用していただけるような「ため池防災点検マニュアル」の配布も予定しています。



平成26年度ため池研修会の様子



ため池点検マニュアル

## 阪神地域

### 中部自然ふれあいあそび（宝塚市）

平成27年8月1日（土）



中部環境保全活動の会による「中部自然ふれあいあそび」が開催されました。次代を担う子どもたちを中心に、農村環境保全活動の一環として毎年開催されており、今年度もため池（上池）での魚釣りを通して外来種の生物調査を行いました。その後、ため池周辺のゴミを拾いながら会場を移動し、宝塚市立自然休養村センターにおいて、メダカのコタロー劇団による外来種生物をテーマにした公演が行われました。

昼食では竹筒でご飯を炊きカレーライスを食べたり、竹とんぼや水てっぽうで遊んだり、楽しく農村環境保全について学び、触れる機会となりました。



魚釣り



メダカのコタロー劇団による環境アニメ



ふれあいあそび

## 東播磨地域 北播磨地域

## 多面的機能支払 東播磨・北播磨地域 活動発表会

平成28年2月6日（土）

東播磨地域・北播磨地域の合同による活動発表会を三木市文化会館小ホールで開催しました。約500名の参加者でホールがほぼ満席となり、毎年恒例の発表会が地域の活動組織に根付いてきたようです。

基調講演では「食と農による地域づくり～兵庫県東播磨・北播磨地域」をテーマに、慶應義塾大学大学院SDM研究科特任教授の林美香子氏にご講演をしていただきました。



林美香子氏



高畑地域づくり協議会代表

表彰式では各市町から推薦された組織の中から事前審査の結果、特に優良な取組をされている活動組織に対し、東播磨・北播磨県民局長賞と優秀賞を授与しました。



受賞団体

### 《受賞団体》

- |           |                  |
|-----------|------------------|
| 東播磨県民局長賞  | 高畑地域づくり協議会（加古川市） |
| 北播磨県民局長賞  | 坂本の自然を守る会（多可町）   |
| 東播磨県民局優秀賞 | 野寺環境保全協議会（稲美町）   |
| 北播磨県民局優秀賞 | 西笠原農地保全隊（加西市）    |
| 北播磨県民局優秀賞 | 市野瀬地区協議会（三木市）    |

活動事例発表では東播磨及び北播磨県民局長賞を受賞された組織の代表者から活動内容をご報告頂きました。

最後に、兵庫県ため池保全県民運動「次世代につなぐため池」をテーマに、兵庫県農政環境部農村環境室長 森脇馨氏より、ため池管理者と県民の協働による保全活動の推進や、次の世代へ安全で良好なため池等をつないでいくことの必要性について説明がありました。

参加者は講演内容のメモを取る等、熱心に耳を傾けていました。



坂本の自然を守る会代表

## 第12回「はりちゅうの日」

平成27年11月15日（日）



北播磨地域の農地や農業用施設等、地域資源の保全活動に取り組んでいる優良地区パネルも展示し、地域資源の情報発信や、幅広い人たちにより地域づくりにつながっていることの意義をPRしました。また「東条川疏水ネットワーク博物館」の定着をはかるためパネルを展示し、「地域の手で次世代のために水の恵みを活かす」のPR活動を行いました。

他にも「多面的機能支払交付金」「田んぼダム」や「水土里フォーラム」の啓発・展示を行い、来場者に2016年メダカのコタローカレンダー（写真入り）を配布しました。



はりちゅうの日

## 西播磨地域

### 西播磨フロンティア祭

平成27年4月29日（水・祝）



光都土地改良センターで展開している「ふるさとの風景づくり活動」や「農村地域における再生可能エネルギー導入支援」「田んぼダム」などをPRすることにより、西播磨地域の魅力を広く県民に広報しました。

当日は、子どもたちの写真を撮影し、自分だけの缶バッジを作りました。



ブースは子どもたちに大人気で、多くの方で賑わいました。

また、田んぼダムのパネルや模型を用いて、子どもから大人まで田んぼダムの効果をわかりやすく伝えることができました。



### 生き物教室

子どもたちと用水路の生き物を捕まえ、その生態等を楽しく学ぶ生き物教室を開催しました。

また、子どもたちは楽しむだけでなく、洪水被害の防止や環境保全など農村の多面的機能について、パネルを用いた説明を熱心に聞き入っていました。

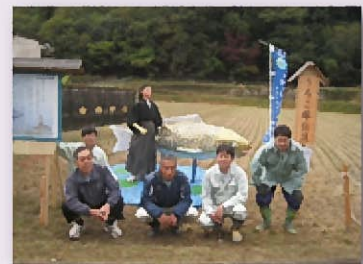


### 羅漢の里もみじまつり かがしコンテスト（相生市）

平成27年11月7日（土）～15日（日）

県民に、農業用施設への愛着と親しみをもってもらえるよう、相生市の長池というため池にまつわる「うろこ塚伝説」をモチーフにしたかかしを出展しました。

かかしの横には、西播磨県民局が先進的に取り組む総合治水ののぼりを立て、その取組をPRしました。



## 中播磨地域

### 浅野ため池ウォーキング（市川町）

平成27年11月22日（日）



11月22日（日）、市川町浅野区内のため池と史跡を巡るウォークラリーが、ため池保全活動モデル地区の取組の一環として開催されました。

市川町浅野区では、祖先から受け継がれたため池が6箇所あり、良質な美味しいお米の水源となっているほか、豪雨時の貯水による防災効果などで人々の暮らしを守っています。

一方で、人口の減少・高齢化などの問題を抱える中、地区内の一人ひとりが地区の課題と魅力を見直し、浅野に必要な取組を考え具体的に動き出そうと、今回、「浅野の貴重な資源のため池」をテーマとして、住みよい浅野を目指し企画されました。

この日、多くの参加者たちは、ため池や史跡をめぐり豊かな自然や景色を楽しみながら、ため池をはじめ、地元に関する歴史や認識を深めました。



ウォーキング目的など説明



ため池で休憩



説明に聞き入る参加者

## 但馬地域

### 直谷池「かいぼり」（朝来市）

平成27年8月30日（日）



朝来市和田山町久田和の直谷池において、「かいぼり」を実施し、地域住民を中心に34名が参加しました。

はじめに、ため池法面の草刈りや清掃活動を行いました。

続いて、子どもたちは水を抜いた後のため池に入り、網で生き物を捕まえました。捕まえたイシガメやエビなどを図鑑と見比べて興味津々の様子でした。



ため池教室・かいぼりについて説明



かいぼりの様子



採取した生き物の説明

## 淡路地域

### 第53回淡路農林水産祭（淡路市）

平成28年1月15日（金）



淡路島では今年も淡路農林水産祭が開催されました。当日は好天にめぐまれ島内外の多くの人達で賑わいました。

「未来へつなげ！豊かな農村」のタイトル看板を掲げた洲本土壌改良事務所ブースでは、事務所の取組みをパネル、パンフレット等で紹介すると共に、田んぼダムの実演模型の展示を行いました。

また、簡単なクイズと啓発グッズ（干支タオル、ボールペン、マグネット付きクリップ、メモ帳等）で呼び込みを図り、約250名の方がクイズに参加されるなど、大勢の方に御来場いただきました。

（主な展示内容は、かいぼり、田んぼダム、総合治水、多面的機能支払交付金、ほ場整備推進、ストマネ、人・農地プラン、6次産業など）



パネル展示ブース



田んぼダム模型



### 田んぼダムシンポジウム（洲本市）

平成27年9月4日（金）

洲本市交流センターで「田んぼダムシンポジウム」が開催され、淡路地域の多面的機能支払に取り組む活動組織代表者等220名の参加がありました。

シンポジウムでは、尾原淡路県民局長の挨拶で始まり、新潟大学農学部吉川夏樹准教授から先進地である新潟県での取組や効果検証等を交えた基調講演が行われました。

続いて、南あわじ市の市西（いちにし）地区および国衙（こくが）地区代表より、取組み事例の紹介があり、その後、吉川夏樹准教授と地元代表とのディスカッションが行われました。淡路島での取組みがより一層広がるようなコメントに来場者は熱心に聞き入っており、有意義なシンポジウムとなりました。



基調講演



熱心に聞き入る参加者



吉川准教授と地元代表によるディスカッション





## 平成27年度 豊かなふるさとづくり推進委員会（現地調査）

多可町加美区の「岩座神（いさりがみ）地区」と「多田地区」の多面的機能支払等の取組みについて、委員の先生方と集落の代表者として意見交換会・現地調査を行いました。

### 岩座神地区

鎌倉時代に造られたといわれる石積みの棚田が広がる標高270m～430mに20戸足らずが生活する集落で、茅葺きを含む古民家と棚田と石垣が調和する農村風景は、日本の棚田百選に選定されるとともに、県条例による歴史的景観形成地区にも指定されています。

平成8年に地区住民により岩座神棚田保存会を立ち上げ、棚田オーナー制度の導入、神戸大学の学生と一緒に石垣の保全、滞在型市民農園施設「クラインガルテン岩座神」の入居者との交流などに取組んでいます。多面的機能支払交付金と併せて中山間地域等直接支払交付金も活用し、都市住民との協働による集落保全を進めています。

#### 委員会でのアドバイスなど

- ☆棚田カフェなど集落のイベントに参加された都市部の方には、連絡先を聞き今後の交流に活かしてはどうか。
- ☆棚田では営農規模におけるメリットがないため、農協や精米業者に出すのではなく、自分の手で精米して直接消費者に届けるなど高く買ってもらう工夫が必要。



石積みの棚田



壁画アート



クラインガルテン岩座神



意見交換会

### 多田地区

多田地区は、北播磨最高峰「干ヶ峰」すそ野に位置し、その山麓から湧き出る良水の恵みを受け農地を守ってきました。

平成19年度から農地・水の活動に取組むと同時に農事組合法人「エコファーム多田」を設立しました。平成26年度からは農地中間管理機構を積極的に活用し、農地の集積と担い手との連携強化を図っています。

また、農地では山田錦（酒米）、丹波黒豆、ズイキなどを生産し、加工から販売までを手がける6次産業化に取り組んでいます。

#### 委員会でのアドバイスなど

- ☆営農組合が、いきなり加工品の製造や販売で専門業者と競争するのは難しい。初めは、専門業者と協力して、原材料の調達から始めるなどノウハウを学んでから加工品の製造・販売を進めてはどうか。
- ☆農業大学出身の20代非農家の女の子が、地域の担い手となっている事例がある。地域の担い手は農家の息子にこだわらず、非農家の子供にも対象を広げれば、担い手が見つかることもある。営農組合では、若い子が嫌がらないような雰囲気づくりが大切である。



意見交換会



農業用施設



エコファーム多田での説明





話題提供

# ひょうごため池新聞・メールマガジン



兵庫県では、「ため池の保全等に関する条例」の施行を契機に、その基本理念に基づき県民一人ひとりがため池の保全活動に取り組んでもらうよう「ため池保全県民運動」を展開しています。この運動を広く県民のみなさまに取り組んでいただくため、ため池に関する話題やイベント情報を掲載した「ひょうごため池新聞」「ひょうごため池メールマガジン」を発行・発信しています。

→ ひょうごため池新聞で検索 <https://web.pref.hyogo.lg.jp/nk11/sasaki1.html>  
メールマガジンの配信を希望される方は、[nosonkankyo@pref.hyogo.lg.jp](mailto:nosonkankyo@pref.hyogo.lg.jp)へ連絡下さい。



平成28年2月14日  
神戸文化ホールで開催しました。

## ひょうごのため池はほくたちが守る！ 「親子自然環境学校」開催

ため池の様々な役割や、  
ため池を守ることの大切さを参加者約1500人に伝えました！



～ため池管理者のみなさまへ～

緊急時における行政との連絡体制の構築や、ため池保全等に関する行政からの情報をお届けするため、「ため池の保全等に関する条例」に基づく管理者の届出が必要となります。

については、届出の対象となる管理者のみなさまへ、県又は市町から団体名や代表者名等を記入いただく様式を配布、又は郵送しますので、管理者届の提出をお願いします。

話題提供

# ため池・田んぼで洪水を防ごう！雨水貯留大作戦

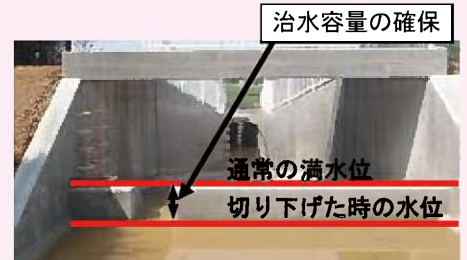
## ～農業・農村の多面的機能の増進について～

兵庫県では頻発する風水害に備えるため、ため池や田んぼなどを活用して下流の洪水被害を軽減させる総合治水対策を推進しています。

ため池では、あらかじめ水を放流（事前放流）し、雨水の一部をため池に貯留する取組が、田んぼでは、落水口にセキ板を設置して流れ出る雨水を調整することで雨水を一時貯留させる「田んぼダム」の取組が始まっています。

### ため池貯留

取水施設の改良や洪水吐（越流堰）の一部切り下げなどの整備を行い、営農に支障のない範囲で事前に水位を下げて雨水を一時的に貯留する取組です。

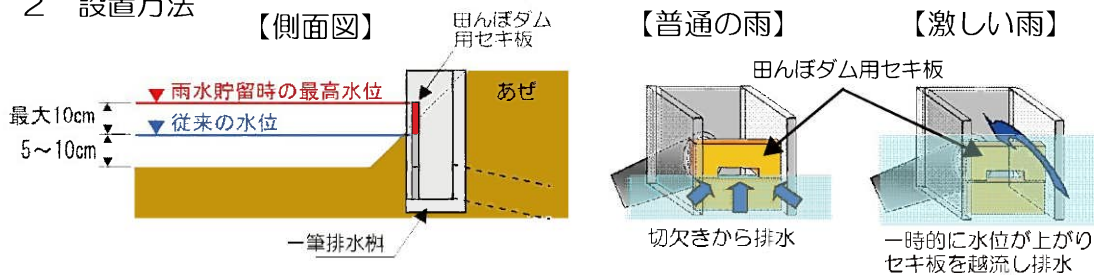


洪水吐の一部切り下げ

### 水田貯留「田んぼダム」

1 田んぼダム用セキ板 切欠きのあるセキ板を既存のセキ板の上に設置します。

2 設置方法



### 地域の取組を応援する支援制度

#### 交流促進モデル事業

雨水貯留を契機とした下流（都市部）との交流活動を支援

事業内容	ため池や田んぼを活用した雨水貯留に取り組み、下流の都市部の団体等（自治会、子供会、企業、NPO等）との交流を促進するなどモデル的な取組に対して活動費を助成
上限助成額	1地区当たり15万円（定額）×2地区
対象経費	農村の取組を下流（都市部）に紹介するなどの交流活動、啓発活動等の実施に要する経費（田んぼダム用セキ板は別途配布）
その他	（交流例）都市部の小学生等との活動モデル 小学生の環境学習として、小学生がペイントしたセキ板を設置し、雨水貯留の学習会に加えて農業体験等の交流から農産物を給食で使用する等へ発展

#### セキ板1000枚配布大作戦

田んぼダムに取り組む集落にセキ板を無料配布

事業内容	総合治水の取組に関心を持つ集落に対して、セキ板を無料配布するとともに管理方法の講習を実施し、効果の高い取組を着実に拡大
要件	①ほ場整備済田での雨水貯留の取組にかかるセキ板の設置や維持管理について、集落内の合意形成が図られている、②実施後のアンケート調査への協力

◆お申し込み・お問い合わせ

各土地改良事務所・センター、阪神農林振興事務所、兵庫県農地整備課